

# フェニキア・カルタゴ研究会 第7回公開報告会

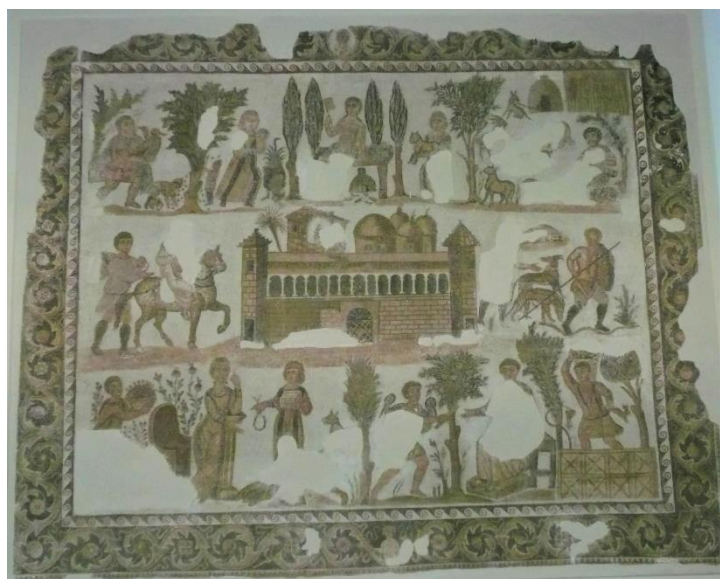
*The Society for Phoenician and Punic Studies in Japan*

昨年度に引き続き、今年度もオンラインでの公開報告会を下記の要領で実施いたします。前半では、フェニキア史の周辺ともかかわる古代オリエント史の分野からの発表に加え、西方フェニキア人社会の重要な拠点、サルデーニャ島のポエニ文化について考察します。後半では、カルタゴにも関係する古代北アフリカの農業について、新たな科研のテーマをもとにした研究成果の発表も盛り込みました。さまざまな方向性からフェニキア・カルタゴ研究の「今」に迫りたいと思います。是非、多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

## プログラム

- 13:15 入室開始
- 13:30 開会の辞・第1部趣旨説明 佐藤 育子(日本女子大学)
- 13:40 「都市アッシュルにおけるエジプト人アーカイブに関する一考察」 丸小野壮太(常磐大学高等学校)
- 14:15 「サルデーニャ島におけるポエニ文化：前6-前3世紀を中心に」 青木 真兵(関西大学)
- 14:50 休憩(10分)
- 15:00 第2部趣旨説明 大清水 裕(滋賀大学)
- 15:05 「後2世紀属州アフリカの皇帝所領における農業経営と小作人を取り巻く権利関係」 宮坂 渉(筑波大学)
- 15:40 ディスカッション
- 16:00 閉会

日時：2022年3月6日(日) 13:30~16:00  
ZOOMによるオンライン開催



「領主ユリウス」のモザイク (バルドー博物館蔵)



サルデーニャ島のノラ遺跡

参加をご希望の方は、3月4日(金)までに下記のフォームからお申込み下さい。3月5日(土)までに当日のリンク先など参加方法をお知らせします

<https://forms.gle/LZB7PNCpRQi8UqLf6>

主催 フェニキア・カルタゴ研究会

JSPS 科研費 21H00584 (研究代表者 大清水 裕) 古代ローマ期北アフリカの農業に関する学際的研究  
20K01237 (研究代表者 宮坂 渉) 古代ローマにおける取引実務の実像と担保法理論への影響に関する研究  
16K03131 (研究代表者 佐藤 育子) 地中海におけるフェニキア・カルタゴ文化の発展と変容